

合格者が語る

関学アカウンティングスクールの授業と公認会計士試験

司 会：山地 範明（経営戦略研究科教授）

出席者：2006年度修了生 仲 友佳子 房内 亮介
生駒 恵子 岡崎 環

2007年度修了生 伊藤 修司 山田 浩史

2008年度修了生 木嶋 宏行 渡邊 雅史



山地 本日はお忙しい中集まっていただきましてありがとうございます。皆さん、おめでとうございます。2008年の公認会計士試験において、関学のアカウンティングスクール（以下AS）では25名の方が合格しました。本日の座談会では、その中から8名の方に、関学のASでどのような学習計画を立て、どのような勉強をしてきたのかについて、具体的にお話をいただきたいと思います。

1. 関学ASでの学習方法

山地 それでは、1期生の仲さんからお願いします。仲さんは教育学部卒業後、都市ガス会社勤務を経て、2005年AS入学、2006年9月AS修了、2007年短答式試験合格、2008年論文武試験に合格されました。2005年開学1年目は簿記などの科目が充実しておらず、会計の勉強を始めたばかりの方は大変でしたが、その辺も含めましてお願いします。



仲 簿記については、簿記1級の勉強をしていたので割とすんなり入ることができましたが、教育学部出身ですので、何をどれだけ勉強したら受かるのかが全く想像出来ませんでした。そこで、各授業の1回目に先生に勉強方法のアドバイスをいただき、それを元に勉強を始めました。授業は復習中心で、記憶に残るように自分でレジュメを作成しました。また、計算問題は1日2問、簿記と管理会計を解くように心がけました。1年生の第1Qは7科目履修し、こなすだけで必死でしたが、その後は要領をつかみ、概ね計画通りに勉強は進みました。開学1年目で制度が不十分な点もありましたが、皆で学校を作り上げようというパワーがあり楽しかったし、ASが良くなっていくことも実感できました。先生方が親身になって教えてくださり、とても良い雰囲気だったことが一番思い出として残っています。

山地 同じく1期生の房内さんはいかがですか。房内さんは、都市銀行を5年間勤務後、ASに入学され、2007年修了、同年短答式試験合格、今年論文武試験に合格されました。

房内 まず、参考書等に頼らず自分で考えて答えを返すようにし、参考書等は勉強している状況のニーズに合わせて使い分けました。暗記事項は、携帯電話のカメラにとって、電車の中で勉強しました。勉強方法ですが、1日1科目を5時間くらいかけてわからないところを徹底的に洗い出し、残りの5時間くらいで他の科目を広く浅くしました。そのおかげでやりこんだと



ころは記憶がなかなか衰えないし、万が一忘れてとしてもすぐにリカバリーが効くのでよかったです。A Sの先生方も学生も真摯でまじめで、環境としてはとてもよかったです。関学ビジネススクールの金融商品開発と管理会計の授業を履修できたこともプラスになりました。それから、体調管理を日々しっかりと行いました。

山地 ありがとうございます。次は同じく1期生の生駒さんです。秋入学でしたが問題はありませんでしたか。それから法学部出身という点は何かプラスになりましたか。生駒さんはA S 2年生で短答式試験に合格し、2回目の論文式試験で合格されました。



生駒 秋入学は入学者が少なかったのですが、担当教員の先生がとても気にくださり、授業の際に声をかけてくださったので、徐々になじめることができました。法学部出身で法律用語などを理解する上で多々役に立ちましたし、破産処理法の勉強がこれからも仕事の上で役立つと思います。普通の大学院に進むのではなく、A Sに入学したメリットをできるだけ享受するためにも、試験には直結しなくても将来関連しそうな、実務と理論

がリンクした授業は出来るだけとるようにしました。実務家の先生はお話が上手ですので、理論を説明される時にたとえを用いてお話されるのですが、自分が将来どういう風に話したら相手に伝わりやすいかを考えるいいきっかけになりました。監査論は実務とリンクするのは非常に難しくイメージがわきにくかったので、授業で大変助けられました。それから、授業で習う範囲は授業中に絶対終わらすことを心がけ、休憩時間にわからないことは先生に聞いて、自分が知らなかったことや表現は、自分のノートに書いていきました。

山地 ありがとうございます。岡崎さんは人文学部の出身で飛び級で入学されましたが、入学後、会計の勉強はスムーズにいきましたでしょうか？岡崎さんは、A S修了した年に短答式試験合格、企業法が科目合格となり、2回目の論文式試験で全て合格されました。



岡崎 入学の要件である簿記2級を持っていればどうにかなるという思いで入学したので、山地先生の簿記も何をおっしゃっているのか訳がわかりませんでした（笑）。山地先生にどうしたらいいですかとお伺いしたら、簿記1級を勉強してくださいと言われたのでそうしたら、理解できました。企業法は少し勉強している部分があったのでスムーズに学習できましたが、管理会計や監査論は知らない単語が一杯あり大変でした。間違いノート

を作り期末試験前に見直しました。公会計を学べたこともプラスになりました。

山地 はい、ありがとうございました。伊藤さんは商学部出身で、学部の中から会計士の勉強を始めていたそうですが、学部とA Sの授業に違いはありましたか。伊藤さんは今年A Sを修了し、1回目の試験で最終合格されました。

伊藤 学部の勉強は入門という位置づけの感じですが、A Sでの勉強は会計士試験合格という部分と、会計の専門家の育成という部分が主軸であったため、授業自体のレベルが上がっていま



す。簿記の授業でも学部では簿記2級程度、A Sであれば簿記1級レベルになるとか、より深い知識を求められ、より深く勉強したことが一番大きな違いです。奨学金獲得のため、G P Aを落とさないよう、すべての科目A +を狙うように頑張り、授業中は集中しました。

山地 ありがとうございます。次、山田さんですね。社会学部の出身で今年A Sを修了し1回目の試験で合格されましたが、勉強は順調に進んだと考えるとよろしいでしょうか。



山田 最初は見たことも聞いたこともないことばかりで、かなり戸惑いました。ただ、会計とか監査はある程度具体的なイメージがわかりますが、社会学は具体的でなく抽象的でつかみどころのない学問だったので、それに比べたら取り組みやすいと思いました。

山地 入学試験で減価償却について聞かれ、答えられなかった(笑)のを思い出しました。

山田 (笑)。減価償却という言葉が知らなかったですからね。

山地 それから、三年くらいで合格したのですね。すごいですね。模範生ですね(笑)。

山田 そこまで変えてしまうというこの学校ですね。

山地 潜在能力もありますのでね(笑)。面接試験で見る目がありましたね。問題点はなかったですか?ほとんど乗り越えてきたのですか?

山田 最初の授業では本当に卒業できるのかと感じ、企業法も単位をとれるのかという気持ちで出席し、それが一年くらい続きましたが、徐々にペースをつかみ、この結果です。

山地 ありがとうございます。次、木嶋さんですが、現職の国家公務員で、2年間の派遣という形で入学され、2年生で合格されました。学習計画は、当初の予定通り進みましたか。



木嶋 入学前に短答式試験に合格していたので、入学後は論文式試験の勉強をするだけでした。試験直前期の第1 Qと第2 Qは試験に直結した応用的な科目だけを履修し、試験終了後の第3 Qに実務的な科目を多めに履修する計画を立てましたが、結局第1 Qに5コマとってしまい、その分2年生では少なくしました。コア科目は基本論点の再確認と位置づけました。

山地 最後、渡邊さんですが、商学部出身で、4回生で短答式試験に合格されていますが、A S入学後、専門学校との勉強の違いで戸惑うということはないのでしょうか。



渡邊 A Sで実務と理論を両方勉強できたことが本試験でも活かすことができましたし、今後監査法人で仕事をするときも役に立つと思っております。特にデメリットはありません。入学前は試験対策として勉強していたので、A Sに入学したことで、本当の会計学を勉強できました。A Sの授業は進むペースも速いので、しっかり予習復習をして、授業中は集中し、

期末試験では、自分が間違えたことをチェックして次の試験に活かせるようにしました。

2. 関学A Sの授業が公認会計士試験にどう活かしたか

山地 それでは関学A Sの授業が、会計士試験にどのように活かしたかについて伺います。A Sの制度上のこととして短答式試験の免除がありますが、そのメリットがあったという方は挙手をお願いします。仲さん、房内さん、岡崎さん、伊藤さん、山田さん、どうですか？

山地 全員ですね。A Sの授業が、論文式試験あるいは短答式試験といった試験という枠を超えてどのようにプラスになりましたか。仲さんから順をお願いします。

仲 各授業の課題を、今から思えばやりすぎかな？と思うほどしっかり取り組んだ気がします。そのおかげで、基礎がしっかりしたと思うし、各論点の背景についても頭に浮かぶようになり、体系的に学べたことが、とても役立ったと今は感じています。

山地 断片的に知識を吸収するというだけでなく、つなげていくということですね。

房内 今年の管理会計の試験に、現場に対してどういう提案ができるかという問題が出て、経営者レベルではなく現場の監督者レベルに対する提案をまず意識に置くべきなのですが、それに直結したのがコストマネジメントという授業で、現場の先生が教えてくださることが試験に活かしました。答えをすぐには与えない授業がたくさんあり、自分で考えてまとめて表現して、議論をして相手を説得させるという方法は専門学校では養えないと思います。課題研究は準備も授業も復習も大変ですが、一番会計士試験に直結していました。

岡崎 A Sの授業で初めから分厚い専門書を読んだり、法規集をチェックする癖ができました。実務家の先生方の講義では、会計士という職業自体にだんだん興味が沸いてきました。

伊藤 A S入学前に通っていた専門学校とA Sの授業を両方経験して思ったのが、専門学校の授業はどうつながるか分からない部分があり結局暗記することになりますが、A Sでは重要なものどうしをつなげる、一本くしを通せるような授業をしてくれたのでそういう意味でよかったです。双方向型の授業で自由に議論できたこともより自分の知識を深めることができ、それが試験という枠を超えて、将来的にもすごい役に立つことだと思います。

山田 課題研究で行う、自分で調べて理解して発表して相手にわからせるという行為は、ただ読んで覚えるだけではなく、自分に定着するので役に立ちました。たまたま、管理会計で僕が発表した論点が、今年の試験に出ましたので（笑）。

山地 それでは、短答式試験免除のメリットを享受していない、生駒さん、木嶋さん、渡邊さんにお尋ねしますが、A Sの授業は論文式試験にどのように活かしましたか？

生駒 A Sの授業で専門書を読む機会が増えたことが説得力のある書き方につながりました。

木嶋 第2 Qの論文対策の授業がちょうどいい論文式対策になり、短期集中できるという面でクォーター制はよかったです。試験直前の一ヶ月前から数日おきに担当教員から激励メールをいただいたことも有り難かったです。

渡邊 それぞれの分野の第一線で活躍されている学者の方や、実務家の先生の授業を受けたことがよかったですと思っています。担当教員の先生にも感謝しています。

山地 科目合格のメリットについてはどうですか。

岡崎 企業法の分を他の科目に回すことが出来るというメリットがありました。

渡邊 租税法が科目合格となり、精神的にも楽なところがありました。

3. 関学A S修了後の勉強方法、勉強環境

山地 A S修了後はどのように継続して勉強されていましたか。

仲 名古屋の専門学校で勉強をしながら、気分転換に、家事をするようにしていました。

房内 専門学校の自習室に行って勉強しました。

生駒 予備校がないときは大学院棟でずっと勉強していました。ロッカーににおいている資料などを全部毎日机に運んで積み重ねておき、1日7科目をちょっとずつ回すということを毎日続けました。学食を利用できたのも体調管理にプラスでした。大学院の図書資料室は新しい本が常に入っており、今何が大切かという感覚を養うことができ、最新の情報を得ることができました。希望すればすぐに本をいれてくださることもよかったです。ゆったりとした時間の中で、会計士試験の勉強を思いっきりできたのは本当にプラスでした。

岡崎 A Sの修了後はほとんど予備校には通わず、大学院棟の自習室で勉強しました。朝は計算科目の1時間問題を2つ、午後は理論問題、夜は答練の問題を解くことをコンスタントにやりました。大学院棟は家から徒歩3分で、お昼もちゃんと食べられたし(笑)、いい環境でした。院棟では他学科の院生の方や中国人の留学生と知り合うきっかけもできました。

山地 伊藤さんも図書資料室で学習しているのをよく見かけました。

伊藤 わからないことがあった場合に先生方に質問に行きました。4月までは一応全科目やるようにしましたが、5月は企業法一本になりました。短答式試験終了後は、専門学校の公開模試や税理士試験の財表の試験までに科目ごとの目標を決め、本試験の目安にしました。

山地 A Sでやっている総まとめの講義がありますが、それはどうでした？

伊藤 試験にそのまま出たわけではないですが、知識の確認にとでも役に立ちました。

山田 専門学校で答練だけ受けて、あとはひたすら家で勉強しました。

山地 房内さん、短答式試験の合格で、監査法人への就職は考えましたか？

房内 考えました。働きながらでは力が分散するし、仕事が好きなので仕事にのめり込んでしまい本分を忘れてしまうことも考え、もう一年我慢して勉強しようと決めました。

4. 監査法人インターンシップ

山地 監査法人でのインターンシップに伊藤さんは唯一参加されましたがどうでしたか。

伊藤 模擬監査を経験し、勉強していた監査は仕事のやり方の説明書なんだという考え方になってから監査論がわかりやすくなりましたし、原価計算、簿記、企業法の知識がいかに使われているのかがわかりました。工場見学を思い出して勉強すると理解が進んだこともよかったです。山地先生の引率で行ったCAPAの国際会議もいい経験になりました。

5. 公認会計士をめざしている方へのメッセージ

山地 最後に、会計士を目指している方々に一言ずつお願いします。

仲 自分を信じてモチベーションを維持して勉強し続ければ必ずいい結果が出ると思いますので、がんばってほしいと思います。

房内 勉強方法の工夫とモチベーションの継続が必要です。次のステージに進めることがこんなにうれしいのは今回が初めてでそう考えると合格するまで挑戦し続けて欲しいです。

生駒 あきらめずに頑張っていけば必ず自分のやりたいことはできます。今厳しい状態にいる方でもあきらめないでください。自分を追い立ててモチベーションを高めてください。

岡崎 同じ時間に起きて眠って、今日やるべきことを行い次に進むということを毎日続けたことが合格につながりました。今までの自分を信じ、最後までやり続けてください。

伊藤 あとがないという覚悟が必要です。試験勉強以外のことも試験勉強の理解につながるので色々と経験してください。社会人の方から実務の話を開けたこともプラスでした。

山田 僕も、社会人の方が同じ学年にいるという環境はとても有意義でした。物事を根性論で片付けるのは好きではありませんが、気持ちや根性が最後にものを言うと思うので、最後まで心折れずに頑張ってください。

木嶋 ASを受験対策として使うだけではなく、ASで学んだからこそできるプラスアルファを見つけて下さい。たとえば飲み会を通じて、共に会計士試験を戦える志の高い仲間や、受験組ではない税理士や弁護士の方や会社社長など様々なジャンルの人と出会えました。発表やディスカッションなど話す機会の多い講義を多めに受講することで、コミュニケーション能力の向上にも役立ちました。

渡邊 合格するには良好な勉強環境が必要ですが、関学ASは最高の勉強環境でした。関学ASを卒業したら、入学してよかったと思える日が来ると思うので、頑張ってください。

山地 今日は、貴重なお話をありがとうございました。



IBA教務補佐の平工明子さんに大変お世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。